

高杉さん(短大機能職)、岩山さん(専修校技術専攻)、出場

若年者もの
づくり大会

秋田市で県代表の壮行会

広島県などで27、28日に開催される第17回若年者ものづくり競技大会に県代表として出場する6選手の壮行会が8日、秋田市のメトロポリタン秋田で開かれた。北鹿関係では、秋田職業能力開発短期大学の高杉康太さん(19)と鷹巣技術専門校の岩山創羽さん(20)の2人が出場。選手たちは「代表としての誇りを持ち、全力を尽くす」など抱負を語っていた。

職業能力開発施設や工業高等学校などでもものづくりに関する技能を学んでいる原則20

歳以下の若者を対象にした大会。厚生労働省と中央職業能力開発協会の主催。本年度は

広島県と愛知県の施設を会場に15職種別の競技が行われる。本県からは旋盤、フライス



県代表の認定証授与などが行われた若年者ものづくり競技大会県代表選手の壮行会(メトロポリタン秋田)

盤電子回路組立、建築大工、ウェブデザイン、グラフィックデザインの6職種に6人が出場。秋田職能短大の高杉さんは電子回路組立、鷹巣技術専門校の岩山さんは建築大工に県代表として出場する。

壮行会では、県職業能力開発協会の佐々木正美副会長が6人の選手に県代表の認定証を授与。「練習の成果を遺憾なく発揮し、力を出し切って納得できる大会となることを期待する」などと激励した。

続いて選手が決意表明を行い、高杉さんは「今まで頑張ってきた成果を十二分に発揮し、秋田の代表という誇りを胸に頑張ってくる」、岩山さんは「大会に向けて覚悟を持って練習してきた。県代表としての誇りを持ち、必ず金賞を獲得したい」と話していた。